

会派の主張

（本会議の
質問など）

三面から六面の内容は
各会派が責任をもって
掲載しています。

公 明 党

代表質問 松尾 武
個人質問 安田 秀夫

個人質問 広岡賀代子

安全安心・元気な東大阪を目指し、来年度予算編成に全力を！ 路面標示で通学路の安全対策の強化を！

一 来年度予算編成の
基本姿勢一

問 これまで以上に、安全安心なまちづくりと共に、生活者の暮らしの不安を取り除き、地域経済を活性化することが大切であり、平成二十六年の本市が取り組む施策は大変重要である。公明党議員団としても子ども医療費助成制度の通院分年齢引き上げなどの予算要望も行ったが来年度予算編成にあたっての本市の基本姿勢を問う。

一 上下水道局庁舎の
建て替え一

問 水道庁舎は耐震性がないため、災害発生時の対応や復旧時に必要な管路や市民の情報を守れるか危惧されている。また、市民サービスや経営効率の向上を図る上でも、上下水道局庁舎としての建て替えが待たれる。公共施設再編整備計画がスタートした現在、上下水道局庁舎の建て替え計画はどうするのか。

一 国保料の軽減策と
収納体制一

問 国は消費税引き上げによる負担増のため、低所得者への配慮として増税分から保険料軽減策を拡充するが、本市ではどのように取り組むのか。また、国保会計約十八億の累積赤字に対して収納率向上のための体制強化を進めるとあるが、すべての滞納世帯に対応できる等、一定のめどが立つまで早急に体制強化をすべきではないか。

一 緊急通報電話の
事業拡充一

問 本市居住の一人暮らしの高齢者は約二万五千人で、その内、利用条件のため、緊急通報装置を利用している高齢者は約九百人で四%

一 通学路の安全
対策路面標示一

問 国の補正予算を活用し、通学路の安全対策を進めているが、その中で自動車などのドライバーの一層の注意喚起を促すため、通学路

一 資源回収箱の
庁舎一階への設置一

問 行政の再生資源ごみ回収への取り組みを積極的にPRすることはもちろん、市民に協力してもらいやすくするため、小型家電のリサイクル回収と併せて来庁者がよく目につく一階に、回収ボックスを常設すべきではないか。



東大阪市オリジナルの路面標示

一 保育施設と 保育士不足対策一

問 平成二十七年からの子ども・子育て支援新制度では、保育を希望する人が利用要件に合うかどうか市から認定を受けることになり、保育所利用要件が拡大される。来年度中には、制度変更に対応できるような体制整備が必要となる。小規模保育など本市の取り組みをどのように考えているのか。また、将来予測される保育士不足に対してどのように取り組むのか。

弱と低い利用率である。また、家族が仕事に外出したあと昼間や夜間に一人だけとなる高齢者からのレンタル希望も多いと聞いている。利用条件の緩和も含め今後、緊急通報装置レンタル事業の具体的な取り組みを示せ。

と認識しやすい路面とする計画は、どのように進んでいるのか。

一 資源回収箱の
庁舎一階への設置一

問 行政の再生資源ごみ回収への取り組みを積極的にPRすることはもちろん、市民に協力してもらいやすくするため、小型家電のリサイクル回収と併せて来庁者がよく目につく一階に、回収ボックスを常設すべきではないか。

環境部長 本庁一階への回収ボックスの設置については、市民の皆様へのPRや利便性の観点を踏まえ検討してまいります。

（次頁へつづく）